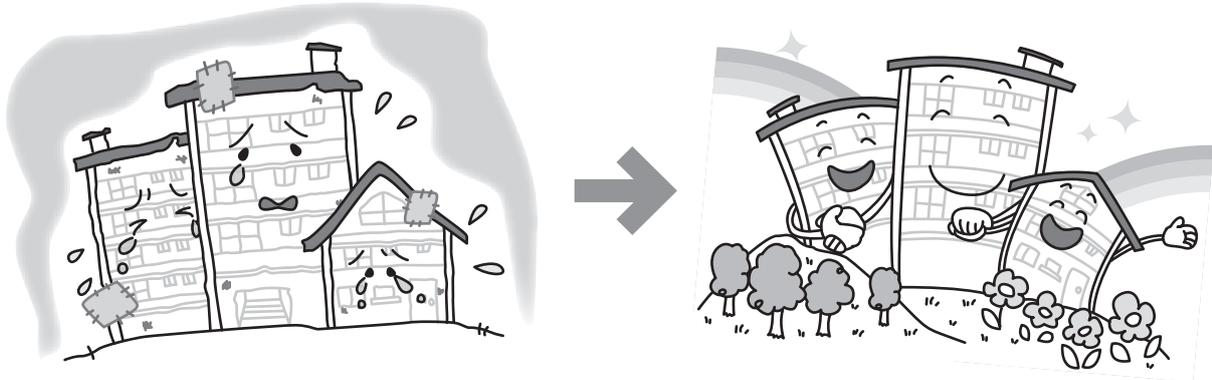


「地元住民が語る、広島市の郊外住宅団地問題のいま」

広島市郊外住宅団地サミット

への参加のお願い



郊外の住宅団地は、今から約 30 年前、高度経済成長期以降、市街地の郊外化とともに大量に完成しました。そのため、高齢化が進み、空き家化やコミュニティの停滞、治安問題のほか、生活機能の低下や路線バス等の移動手段不足など、多くの問題が指摘され、個々にはさまざまな取り組みが始まっています。

今回は、広島市郊外住宅団地サミットとして、主な住宅団地の住民代表の方にお集まりいただき、各郊外住宅団地の現状を語っていただくとともに、特性や条件が異なる団地固有の問題について参加者の方と広く共有し、今後の多様で具体的な解決方法の提案に向けた取組を進めるきっかけにしたいと考えています。

郊外団地住民の方、行政関係者、研究者、住宅産業関係者、NPO関係者をはじめ団地問題にご関心のある方、一般市民の方々など、広くご参加を期待しています。

とき 平成22年 11月21日(日) 13:00~17:00

ところ 広島市まちづくり市民交流プラザ北館6階 マルチメディアスタジオ
〒730-0036 広島市中区袋町6-36 TEL (082) 545-3911

定員 100名
(当日先着順、できれば事前に申し込みをお願いします)

参加費 無料

主催 NPO住環境研究会ひろしま、都市住宅学会中国・四国支部

後援 広島住まいづくり連絡協議会、広島市、日本建築学会中国支部
日本都市計画学会中国四国支部

お問い合わせ先 NPO住環境研究会ひろしま 副理事長 宮本 茂
TEL (082) 245-7900 (社団法人 中国地方総合研究センター)